



# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 令和7年12月22日号

学校教育目標「自ら学び、未来を創造できる生徒の育成」～楽しくなければ学校ではない～

今年も残すところ10日を切りました。クリスマスにお正月と、私も子どもの頃にはワクワクしたものです。(最近は出費にドキドキします。) みなさんはどうなんでしょうか。昔は、この季節になると街にはクリスマスソングがいろんなお店から流れてきたり、クリスマスケーキや大きなおもちゃの箱を抱えている人をよく見かけました。25日が過ぎると、次はお正月に向けての買出し。親には、いつもより多めにお菓子を買ってもらったりと、冬休みは楽しかった思い出の方が多いですね。さて、特に年末年始の過ごし方は家庭や時代によって様々ではないでしょうか。除夜の鐘を聴きながら。。。 (最近では、鐘の音が五月蠅いとお寺にクレームが来ると聞きました。なんだか世知辛い世の中ですね。)

良いお年を。



## ▶ 育成学級スポーツフェスティバル



11月27日、島津アリーナにて京都市内の各校の育成学級の生徒たちが集まって、リレー・球技大会が行われました。リレーは、競争した組で2位! バレーボールについては、上京中学校との合同チーム。どの試合も1点差や同点という結果でしたが、組内で1位を取ることができました。おめでとうございます!



## ▶ 2年生チャレンジ体験



11月25~28日まで、2年生の職場体験を行いました。多くの事業所にお世話になり、少しは仕事の大変さや楽しさを実感することができたのではないかでしょうか。普段はお客様として来店している場所が、全く違った景色に見えたかったのではないかでしょうか。仕事の大切さを学ぶだけではなく、今までと違う視点で見ることができたのも大きな成長だと思います。どのようなこと(学習面や友人関係等々)でも、違う視点で見たり考えたりすることができるようになること。とても大事ですね。



## ▶ トクイン双ヶ丘(3年生)

12月5日、3年生は公民の時間に金融教育を行ったため、自らの将来設計についてプレゼンをしました。中学校卒業後、老後のことまでの人生プランを自分なりに考えました。具体的にお金に焦点を当て、どのように将来を過ごしていくか、様々なアイデアを聞くことができました。貯蓄が赤字になるので、投資信託等で補うなど、昔では考えられなかったお金の運用について、学習したことが活かされた発表でした。夢ばかりを語るのではなく、現実をしっかりと見据えた発表だったと思います。大変興味深かったです。

## ▶ 12月人権月間

12月は人権月間です。授業でも人権学習の時間があったと思います。1年生は「障がい者について」、2年生は「外国人差別」、3年生は「同和問題」について。学校教育目標の中に目指す生徒像として「【友愛】心豊かに、自他を大切にし、思いやりのある生徒」という文言があります。人権とは、誰もが安心して生活し、尊重されるための基本的な権利です。スマホが普及してからは、SNSでのトラブルが多発しています。面と向かっていっているのではなく、ネット上で悪口を言ったり、酷い言葉づかいなど、言動が相手(の心)を傷つけています。みなさんは、互いを思いやる気持ちを持ち、差別やいじめをなくすこと、見逃すことがないようにしてほしいと思います。

## ▶ 保護者のみなさまへ

上記にもありますが、12月は人権月間です。ご家庭でも、日常の会話の中で「自分がされて嫌な事は、相手にもしないこと」「一人ひとりが大切な存在」という気持ちを話し合っていただけると幸いです。お互いが尊重し合える世の中こそ、子どもたちも含め、皆が安心して過ごせる環境です。大人たちが先頭に立って作っていきましょう。さて、本年も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。生徒たちは、保護者様や地域の方々の温かいご支援のもと、学習や行事を通じて大きく成長することができました。来年は、さらに一人ひとりの可能性を伸ばす教育をより一層充実させてまいります。教職員一同、子どもたちが安心して挑戦できる環境を整え、笑顔あふれる、楽しい学校生活を実現するため、全力を尽くしてまいります。寒さ厳しき折、どうぞお体にお気をつけて、良いお年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。